

SHIP 通信

県立麻生養護学校
支援連携グループ

No.2

令和3年3月 発行

早いもので、今年度も残りひと月を切りました。今号では「地域支援センターSHIP」より、今年度の取り組みについてご報告いたします。

教育相談



今年度は、地域との連携について例年とは違った対応や工夫が必要な年となりました。しかし、その中でも校内や地域の方から様々なご相談があり、時には各関係機関と連携をしながら教育面談や学校相談を実施しました。地域の学校への訪問相談では、教育相談コーディネーターや自立活動教諭(OT、PT)が訪問し、授業作りやお子さんへの支援方法について一緒に考えました。緊急事態宣言後は、電話相談等を通じて対応をしました。

公開講座・研修会



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場や対象者を制限し感染症対策を行った上での開催となりました。例年よりも小規模の講座となりましたが、皆様と共に学ぶ機会をもつことができました。ご参加いただいた皆様、感染症対策にご協力いただきありがとうございます。

《今年度実施した公開講座・研修会》

◆サタデーセミナー(麻生養護学校PTA・柿P塾共催)

『「親なきあと」も安心して暮らすために～知っておきたい制度と仕組み～』

講師:「親なきあと」相談室主宰 渡部 伸 氏

《公開講座・研修会の報告》

講師の渡辺伸氏は2014年に「親なきあと」相談室を開設し、障害のある子を持つ保護者の方々のために、今ある法制度やサービスを組み合わせ「子どもたちが少しでも安心して暮らす」ための支援に日々ご尽力されています。

この講座では、お金の管理や生活の場の確保、成年後見制度について等、「親なきあと」の生活を支える仕組みや今できることについてご講演をいただきました。

当日の参加者は14名で、実施後のアンケートでは「知らなかった情報がたくさん知れて良かった。」「前向きな気持ちでお話を聞けるセミナーでした。」「家族との話し合い地域とのつながりの大切さが改めて認識できました。」「様々な制度が一昔前より良い方向に改善されているようで安心しました。」等の感想がありました。

移行支援係



今年度は新型コロナウイルスの影響により、進路に関する様々な活動が縮小、延期など変更を与儀なくされました。在校生や保護者の皆様には多くの不安があったかと思われます。そんな中でも多大な御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございました。去年度同様に、卒業後に地域で安心して暮らすこと、日中活動等を通して社会参加をすることに視点を持ちつつスムーズな移行支援となるよう、高等部を中心にいろいろな形で取り組んできました。

1. 保護者の方を対象にした、主なものを次に紹介します。

○進路相談会

例年、高等部3年生は、川崎市と横浜市の居住区別に担当ケースワーカーとの個別面談を行いますが、今年度は相談会を行わず、担当ケースワーカーから各家庭へ連絡を入れ、必要に応じて区役所または自宅での面談を実施する方法をとりました。

○進路面談

現場実習の前後に進路面談を行い、進路意向・具体的な実習希望等の確認をしました。出席者は、本人、保護者、担任教員、進路担当教員です。

○実習説明会

今年度は説明会を実施せず、進路面談や個別の問合せなどを通して情報提供を行いました。

○進路説明会

9月に高等部1年を対象に、進路(移行支援)に関する基礎知識と近隣施設の情報等について説明しました。併せて施設見学の説明も行いました。

○施設見学説明会

9月の進路説明会で情報提供を行いました。(高1対象)

○施設見学会

例年は前期(6, 7月)後期(1, 2月)に約20ヶ所ずつ(川崎・横浜)施設見学を行いますが、今年度は9月中旬～2月下旬の間で見学を実施し、約30カ所の見学を行いました。

○企業(特例子会社・障害者雇用企業など)見学会:

12月～2月に3ヶ所の企業見学を予定しておりましたが、2か所のみの見学となりました。

2. 生徒を対象にした、主なものを次に紹介します。

○働く学習:学部学年ごとに随時実施

○高1年校内実習(本校):10月に1週間

○高2・3年校内実習(本校):10月に2週間

○職業(分教室)、ワーク・アート(本校) 毎週火、金の午前午後の時間

○高2年現場実習:2学期以降1～2回※就労希望者のみ。高3を優先するため前期は実施せず。

○高3年現場実習:前期1回、後期1回 ※希望状況によっては追加実習を行いました。

○分教室1年職業トライアル実習(分教室):1月～3月に2～5日

○進路に関する校外学習(施設見学等)、体験学習など



生徒一人ひとりによって実際の進め方は様々なので、生徒本人の実態を考慮しつつ担任や学部と協力して実施しています。

今年度の高等部3年生の卒業後の進路状況については、本校では昨年に引き続き企業就労者がいました。福祉サービスでは例年のように川崎市・横浜市ともに生活介護事業所の利用が多くなっています。分教室では、約半数の生徒が就労しており、就労移行支援事業所の利用も多くあります。なお、詳細については4月に中学部・高等部全員に配付する『進路ハンドブック』に記載します。なお『進路ハンドブック』や事業所のパンフレット等は1階図書コーナーに置いてありますので、ご自由にご覧ください。

今後も校内のさまざまな協力・支援はもちろん、企業やハローワーク、区役所のケースワーカー・相談支援事業所などの福祉関係の外部機関との連携をすすめ、よりよい地域移行となるよう、一緒に取り組んで行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学校施設開放等

今年度は、体育館と音楽室を第2・4土曜日、毎週日曜日、祝日の午前9時～午前12時及び午後1時～午後4時の時間帯を地域の皆様に開放いたしました。新型コロナウイルス感染症対策を各利用団体の皆様に行っていただきながら、安全に実施することができました。また、例年実施していたパラスポーツ体験教室は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「フライングディスク体験教室」と「親子で英語を話しながら！？バレエ・チャレンジ教室」のみの開催でしたが、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で安全に実施することができました。

出前授業

12月に虹ヶ丘小学校と麻生小学校の4年生を対象に出前授業『麻生養護学校小学部4,5年生の一日』をしました。図工や生活の授業、給食の様子等、画像を見せながら説明をしたり、☆柿祭の展示作品を映像で紹介したりしました。子どもたちは興味津々、どの子も食い入るように見ていました。「近くに住んでいるので、今度、出会ったら挨拶したいです。」「みなさんの笑顔が印象的でした。」「いろいろなことができるということが分かりました。」等、様々な感想をいただきました。

コロナ禍でも、形を変えて発信することで、元気な麻生養護学校の豊かな活動を知ってもらえたらと考えています。



ボランティア

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアは募集しませんでした。また、来年度以降、募った際はご協力よろしくお願いいたします。

お祭り・イベント参加



今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、多くの地域のお祭りやイベントが中止となりましたが、ウェブ開催等新しい方法での開催をしたイベントもありました。以下に、今年度のイベントの報告をいたします。

- 第 20 回多摩ふれあいまつり（多摩市民館） 令和2年6月 21 日(日) 中止
- 第 31 回あさお福祉まつり（麻生区役所中庭等） 令和2年 11 月8日(日) 中止
- 第 144 回ユニヴァーサルコンサート(新百合トウエンティワンホール)
令和2年 11 月 15 日(日)
⇒麻生区 YouTube チャンネル「麻生区ちゃんねる」にて動画配信
- カフェ・グランデ あさお2020（新百合トウエンティワンホール）
令和2年 11 月 28 日(土)
⇒麻生区 YouTube チャンネル「麻生区ちゃんねる」にて動画配信
- アートフェスティバル2020 令和2年 12 月 中止
- 令和2年度 かわさきふれあい作品展ホームページ版
令和3年2月1日(月)～3月 25 日(木)
「川崎市特別支援教育研究会」<http://www.keins.city.kawasaki.jp/9/ke9501/>
- 新春あさお「笑はがき」展（麻生区役所2階ロビー）
令和3年1月5日(火)～15 日(金)
⇒麻生区 YouTube チャンネル「麻生区ちゃんねる」にて動画配信
- 第 15 回子どもが作る町「ミニたまゆり」 令和3年2月 中止



ユニヴァーサルコンサート、カフェ・グランデあさお2020では、アトリエ・アンカラの作品展示とともに、高等部生徒がワーク・アートの時間に作成した自主製品（アトリエ・アンカラ、やきもの班、クラフト班、洗濯班）の展示、カタログ配付を行いました。また、かわさきふれあい作品展では、B 小、A 中、アトリエ・アンカラの生徒の作品をウェブ展示しました。

例年通りには、作品展やイベントに参加できませんでしたが、ウェブ展示等、新しい方法で地域の方々に本校の教育活動を伝えることができました。